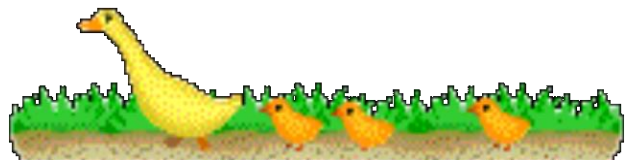


てくてく



福井大学教育学部附属特別支援学校 教育相談部
2021. 1. 8 (金) 発行
福井県福井市ハツ島町 1-3
TEL 0776-22-6781 FAX 0776-22-6776
<http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~f-tokusi/>

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、互いの学校を行き来して深めてきた学校間交流や居住地校交流の実施が難しい、という想像だにできなかった状況に見舞われました。実施の時期や方法、内容等について検討を重ねましたが、本年度は実施を見送ることにしました。

そんな中、インターネットのオンライン会議システムを利用した交流や、マスク製作・作品展示などによる交流を実施しました。会いたい相手と対面できない状況でも、互いのことを知り合う活動や、自分たちの取組を知ってもらう活動を展開できたと思います。これまでにはない形で、いろいろな人たちとつながり、学びを深めることができました。今回の『てくてく』では、それらの活動についてご紹介します。

中学部



福井大学教職大学院の先生との英語交流

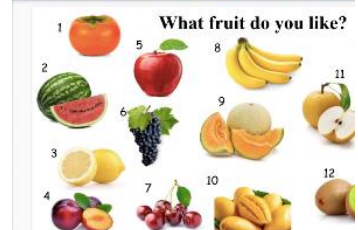
9月9日(水)、16日(水)、23日(水)のグループくらしの時間、月グループの生徒が福井大学の教職大学院の先生方と、オンラインの会議システムを活用した英語交流を行いました。

1回目は「自己紹介をしよう」ということで、先生たちの名前や国などをスライドで紹介してもらいました。そして、「My name is ○○.」と英語で自己紹介をしたり、「What color do you like?」の質問に「I like black.」などと英語で答えたりしました。

2回目は、アルファベットクイズをしました。先生が画面で見せた文字と同じアルファベットをカードの中から選び、一緒に読み方を確認しました。そして、みんなでアルファベットの歌を聴いたり歌ったりしました。

3回目は、好きな果物や動物について英語で答えることに挑戦しました。「What fruit do you like?」「What animal do you like?」の質問に「Watermelon!」「Gorilla!」と英語で答えたり、画面でイラストを指さしたりして答えました。また、先生たちの好きな果物や動物も教えてもらい、身近な果物やなじみのある動物が出されると、なるほどという表情で聞いていました。

今年度は例年とは形を変えて、オンラインでの交流を実施しました。少人数で、画面を見ながら話を聞いたり質問に答えたりするのも生徒たちにとっては新鮮で、みんなが楽しみながら英語や異文化に触れることができました。



織り班 マスク作りに協力!! ~第1弾 坂井市 第2弾 福井市~

第1弾 小学生のためのマスク作りに協力~坂井市~

休校中に、織り班の生徒達の課題として、マスク作りに取り組みました。たくさんの人たちが分担して作るマスクで、高等部の生徒達が担ったのは「ゴムを通す部分」をミシンで縫う仕事でした。マスク作りは初めてでしたが、手順書を見ながら一つ一つ丁寧に作りました。ガーゼが柔らかくて、最初はうまくいかずに苦労しましたが、やっていくうちにコツをつかみうまくできるようになりました。生徒達の作ったマスクは坂井市の小学校に配られ、お礼の手紙をいただいたり広報誌で紹介していただいたりしました。

第2弾 福井市社会福祉協議会

「手作りマスクプロジェクト第2弾」に協力~福井市~

福井市社会福祉協議会の「誰かの役に立ちたいという気持ちを大事に!」と始まった『手作りマスクプロジェクト第2弾』に参加しました。7月配布に向けて、休校明けから取り組みました。今回は、布の裁断からラッピングまでのすべてを担う作業になりました。生徒全員が「裁断」「縫製」「ゴム通し」「ラッピング」「メッセージカードの作成」など自分の得意な分野で力を発揮しました。作ったマスクは、福井市内の小学校や児童館、事業所等に配布されました。

コロナ禍で、「社会の中で自分たちが役に立っている」「自分たちの活動を喜んでくれる人がいる」ということを実感でき、貴重な交流の機会になりました。



令和2年7月29日福井新聞より

生活3班 ファームサルートへ製品搬入

8月26日(水)、生活3班は新田塚にあるファームサルートに仕事の製品搬入に行ってきました。夏休み明け、まだ日差しが強い中をみんなで頑張って歩いて行きました。売れ残った製品を回収し、新しい製品と入れ替え、売れた分の代金をいただいてきました。自分たちの作った製品が実際に並んでいる様子を見ることができ、仕事に対する意欲にもつながっています。



令和3年度全国高校総体へ記念品製作で参加

令和3年度全国高校総合体育大会が福井県で開催されることを受けて、全国から集まる選手達に渡す「福井らしさを感じる手作り記念品」製作を行っています。今年5月より「紙と刷り」「織り」「焼き物」の各班で製作を担当し、中には大量の発注を受け、今年度一年かけて行っている班もあります。本校の仕事製品の独創性を発揮しつつ、高校総体室から要望された「福井らしさ」や「総体公式キャラクター」を取り入れ、「高校総体限定コラボ商品」を作り上げました。高等部の生徒は、自分たちと同年齢の人へ「選手の皆さん、頑張ってください」「僕たちが心を込めて作りました」などのメッセージを届けます。

紙と刷り班	封筒 A セット(ポチ袋)	100個
	封筒 B セット(中・小サイズ)	200個
	一筆箋 6 枚セット	500個
	メッセージカード A セット (カード)	200個
	メッセージカード B セット (形)	200個
	お祝い封筒(水引のし袋)	300個
焼き物班	箸置き(水仙・恐竜)	200個
	マグネット(水仙・恐竜)	300個
織り班	織りコースター	100個
	くるみボタンマグネット	100個

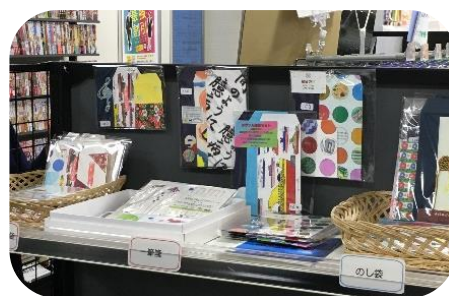


令和2年11月5日福井新聞に掲載されました。



生活 2 班 福井大学生協・学長秘書室へ製品搬入

コロナウイルス感染防止対策のため、地域との交流や対面での仕事の製品販売を行う「虹の市」を中止せざるを得ない状況が続いています。そんな中、生活2班では12月2日(水)に、福井大学生協・学長秘書室へ製品搬入に行ってきました。生活2班の活動として、毎年1~2回は定期的に搬入に行っており、今回は、大学生協担当の方や学長秘書の方にご挨拶し、搬入と共に売り上げ金を受け取ることができました。学長と副学長に会い、副学長より直接紙と刷り班に名刺の注文をいただいたり、織り班には「布マスク」、焼き物班には「アマビエのミニ置物」の納品依頼を受けたりしました。



日新公民館祭りでの作品展示

11月21日までの一か月間、日新公民館まつりなどを通して、本校中学部生徒の共同制作である「虹」の展示をしていただきました。日新小学校、藤島中学校、福井商業高校美術部や日新児童クラブの作品と一緒に展示され、地域の人々に見ていただく良い機会となりました。

共同制作
「つながりのある絵」



学校での制作の様子

